

Ⅸ 北海道今金高等養護学校 キャリア教育全体計画

生徒の実態		校訓				法的体系・道の方針			
・多様な障害特性（知的障害、発達障害、二次障害等） ・個々に異なる発達段階、生育歴、教育歴 ・多様な価値観、興味関心の範囲差 ・学習内容の実生活での応用、望ましいコミュニケーションや関係構築の困難さ ・多様な進路意向、卒業後支援の必要性		自ら行動し 最後まで 努力する人				・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・北海道教育推進計画 ・特別支援教育に関する基本方針（令和5年度～令和9年度） ・道立特別支援学校高等部教育課程編成基準			
		学校教育目標							
		豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる							
		本校の使命（ミッション）							
		・地域と共に学び（共学）、地域と共に創造し（共創）、地域と共に生きる（共生） ・ワークキャリアアップ（職業人）とライフキャリアアップ（社会人）に基づいた地方創生と共生社会の担い手の育成 ・関係機関との連携に基づいた特別支援教育のセンター的機能及び地域の特別支援教育の充実並びに共生社会への貢献							
連携機関		目指す生徒像				連携機関			
・各家庭、児童養護施設 ・福祉機関、事業所 ・企業、労働関係機関 ・医療・保健機関		希望に向かって努力しやり遂げる生徒				・文部科学省 ・北海道教育委員会 ・今金町教育委員会 ・各自治体			
		・自ら視野を広げ、豊かな心を持つ生徒							
		・健やかな体をつくり安全に留意して生活する生徒							
		・働く喜びを知り、社会に貢献できる生徒							
		・人と適切なコミュニケーションができる生徒							
キャリア教育目標（今養版キャリアプランニング・マトリックス）									
このマトリックスについて		これは、上記目標等を達成するために各年次段階における教育目標を、キャリア教育における基礎的・汎用的能力の分類に沿って示したものである。							
		○基礎的・汎用的能力については、次のように換言して捉える。							
		人間関係形成・社会形成能力：「人や社会と関わる力」 自己理解・自己管理能力：「自分にできることを行う力」							
		課題対応能力：「課題を解決するために必要な力」 キャリアプランニング能力：「自分で自分の人生を歩んでいく力」							
		○これらの力を身に付けさせるために、育成すべき資質・能力について、学習指導要領で示されている観点別学習状況評価の3観点をもとに示している。							
		年次段階に応じて指導することを前提とし、一覧にしている。							
		○各年次段階共通して、「必要な支援を求めながら活動する」ことについても指導していく。							
キャリア発達段階		1 年次段階		2 年次段階		3 年次段階		生涯にわたる段階	
学びのテーマ・進路目標		学びをとおして気付く・知る		将来を意識し、自ら学び、行動する・見極める		将来を見据え、自ら学び、行動する・決定する		自ら考え、行動し、歩み続ける	

身に付けさせたい基礎的・汎用的能力	人間関係形成・社会形成能力	・集団活動をととして自分の意思を伝えたり、他者と協力したりしつつ、自らの役割を果たす。	・相手を理解・受容し、自分の言動を調整したりしながら関係を築きつつ、自らの役割を果たす。	・相手の立場を考えた言動をとり、望ましい関係を保ちつつ、自らの役割を遂行する。	・協調性のある適切なコミュニケーションを実践する。
	自己理解・自己管理能力	・目標を立てて達成する経験をととして、長所や課題に気付く。	・目標を立てて達成する経験をととして、長所や課題を評価し、改善に取り組む。	・卒業後を見据えて、課題解決に向けて行動する。	・課題の改善を続けるとともに、自らの言動に責任をもち、社会人として正しい習慣を定着させる。
	課題対応能力	・社会のルールや、社会生活に必要な事柄を知る。	・社会生活上必要な事柄や規範等を理解する。	・社会生活上必要な事柄や規範等に応じた言動をとる。	・社会生活上の TP0 に合わせた生活を実践する。
	キャリアプランニング能力	・活動への意欲を学習活動へとつなげ、諸活動をととして自己有用感を得る。	・職業生活へのやりがいを見付け、諸活動をととして自己有用感を深める。	・職業生活へのやりがいをもち続ける方法を見いだしながら、諸活動をととして自己有用感を保つ。	・職場や社会に貢献する意識をもちながら、社会生活への意欲を維持・向上させる。

育成を目指す資質・能力	知識及び技能	身だしなみ、言葉遣い、挨拶・返事・報告・相談、礼儀、マナー、他者とのかかわり方 読み書き計算、金銭管理、収入と支出のバランスを考えた消費・貯蓄の計画 地域社会や各種機関について、社会生活上の規範や権利・その侵害への対処 役割の理解及び職業を遂行するための知識・技能、情報収集と取捨選択 長所と課題、目標達成に向けて取り組む方法、振り返り改善を図る方法	個々の実態に応じて、左記の 「育成を目指す資質・能力」を もとに、必要な卒後支援を行う。
	思考力・判断力・表現力等	知識技能を生かす、調べる、捉える、考える、見いだす、計画・設計する、実行する、保つかかわる、話す、意見や思いを適切に表現し伝える、発信する 協調性をもって取り組む、協力する、相手や物事を受け入れる、認める、尊重する 状況に応じる、TPO や関心に応じて選択する	* 主体的・対話的で深い学び * 協同学習 * 個別最適な学び 等によるキャリア教育の実践
	学びに向かう力、人間性等	心掛ける、取り組む、行動する、活動する、実践する、役割を果たす 周囲・状況に合わせる、つくり上げる 自己決定、意欲、自己有用感	

各種教育計画策定	学年・学科・ホームルーム経営計画、分掌運営計画、各教科等の年間指導計画 / 個別的教育支援計画及び指導計画				卒後支援の計画
評価・改善の方策	学校評価、年度評価（各部会及び全体） / 通知表、指導要録				進路指導部会等における実践の評価

※「学びに向かう力、人間性等」のうち、“主体的に取り組む態度”は各教科等の年間指導計画（単元指導計画や学習指導案も含む）において目標を設定し、個別の指導計画に沿って指導した結果は、通知表の当該各教科等の欄に評価として記す。“感性、思いやりなど”の個人内評価は、総合所見の欄に記す。

※個別の指導計画における目標及び手立ては、個別的教育支援計画における支援の目標との関連を踏まえて設定する。